



学校便り

校長 小川 百合子

TEL 233-6451

◆◆◆ 8月 ◆◆◆

長い夏休みが終わりました。子どもたちの元気な声が校舎に戻ってきます。1学期の終わりごろには、マスクをつけてですが声を出して元気よく挨拶をする児童が増え、うれしい気持ちになりました。2学期の始まりはどうでしょうか。今学期も朝、杉本小学校の子どもたちを正門で迎えたいと思っています。コロナウイルスの感染予防に対しては大きな行動制限もなく夏休みが過ぎていきました。2学期は修学旅行や、遠足、運動会等大きな行事があります。子どもたちにとっては一つひとつとても大切な経験になります。どうぞ家庭でも感染予防に気を付け、全員が元気に行事に参加できるようにご協力をお願いいたします。今学期もどうぞよろしくをお願いいたします。



【インクルーシブ教育】



杉本小学校では、インクルーシブ教育の推進をはじめて6年目となりました。「子どもたち一人ひとりを大切に、誰もが認められる学校」をめざして、取り組んでいます。

昨年度の学校便りでもお伝えしましたように、5つの取組を柱として実践しています。

①支援体制の整備 ②交流及び共同学習 ③学級の支援 ④授業のUD化 ⑤地域との連携

これら5つの取組を、教職員で役割分担し、それぞれの取組状況を毎月の会議で情報共有しています。そして、全教職員で共通理解のもと、支援のための手立てや必要な対応を行うように心がけています。子どもたちが毎日安心して学校生活を送ることができるように、「いつでも、どこでも、だれでも」をモットーに、チームの力で取り組んでいます。

インクルーシブ教育に取り組む中で、子どもたちは様々なかかわりを経験しています。それにより、相手を思いやり、自然と違いを受け入れる姿が見られるようになりました。これからの共生社会を創っていく子どもたちの心が育ってきていることを感じています。

今後も、今行っている支援や環境づくりの中にあるインクルーシブな視点を日々見直しながら、より杉本小学校に合ったインクルーシブ教育の実践を続けていきます。

インクルーシブ教育推進担当 實山 美雪



学級づくり「伝え合い活動」



授業づくり「黒板の工夫」



授業のUD化「ICTの活用」